

皆さんご存知ですか？

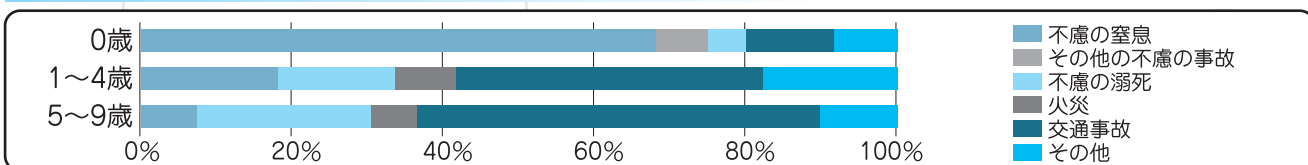
ここ40年以上、日本の子どもの死亡原因第1位は「不慮の事故」です。
しかも、「家庭内の事故」が多いのが現実です。

*年齢別にみた死因順位

(平成15年)

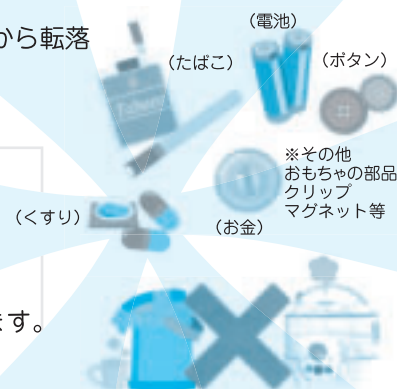
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0歳	先天奇形・染色体異常	呼吸障害・血管障害	乳幼児突然死症候群	胎児の出血性障害	不慮の事故
1～4歳	不慮の事故	先天奇形・染色体異常	悪性新生物	心疾患	肺炎
5～9歳	不慮の事故	悪性新生物	その他の新生物	心疾患	先天奇形・染色体異常

*「不慮の事故」の中でもどんな事故が多いのでしょうか？



*家庭内で起こりやすい事故

- ①転落、転倒：ベビーベッドから転落、親が誤って落としてしまう、ベランダから転落
- ②窒息：布団・衣類、小さなものをのどに詰まらせる
- ③誤飲：タバコや小さいおもちゃ、薬品、あめやピーナッツなどの食べ物
 - 誤飲が一番多いのは、タバコです！
 - 赤ちゃんの口の大きさの目安はラップの芯の大きさです。直径39mm以下のものは何でも口に入るので危険です。危険と思われるものは赤ちゃんの手の届かないところへ！
- ④溺水：おふろの残り湯、洗濯機に誤って入ってしまう
- ⑤やけど：抱っこしたまま親の飲み物がこぼれる、テーブルの上にあったカップラーメンや飲み物に手をのばす、ポットや炊飯器など
 - 高い所へ置いておいても、コードを引いて上から落ちてくる危険もあります。
 - 蒸気もやけどの原因になります。
- ⑥その他：指をはさむ、感電など



まさか「うちの子に限って」ではなく「ひょっとしたらうちの子も」と意識や行動をかえていかなければなりません。自分の子どもが事故にあってしまったら、とても悔やみ、自分を責めてしまうことになります。「子どもから目を離さない」だけでなく、「親が目を離しても安全な環境をつくる」ことが大切です。一人一人が心がけ、事故の予防に努めましょう！

ゲンキ城里★ぴっく・あっぷ!! ～町の保健事業を紹介します～

ゲンキな城里町にするために、保健師が皆さんの健康のお手伝いをしています。
今月のぴっく・あっぷは「きらきらばあく」です。

子育て中の親子の集まる場を求めて、「にこにこひろば」のおかあさん達が立ち上げた育児サークルです。
城里町で子育てしているお父さんお母さんが、さらに楽しんで育児できるようみんなで盛り立てています！
私たち保健師も応援しています！

6月には、県立水戸農業高校の「夢民(ムーミン)プロジェクト」第2回目として、「ジャガイモ掘り&さつまいもの苗植え&カレー作り」に挑戦してきました。

町内在住の親子130人が参加しました。高校生が、クイズや紙しばいで野菜について分かりやすく説明してくれました。先生方、あずさお姉さん、生徒の皆さん、ありがとうございました。また、子ども達だけでなく、お父さんお母さん方も水戸農業高校の豊かな自然と人に癒されています。

秋のさつまいも収穫を楽しみにしています！

「きらきらばあく」については、保健福祉センタープレイルームにも掲示してあります。



■づどのひろば 保健福祉センターのプレイルームに私達がいます。気軽に遊びに来てください！
保育士：9月12日(水)、19日(水) 助産師：9月20日(木)

問合せ 健康福祉課(常北保健福祉センター内) ☎ 029-240-6550(直通) ☎ 029-288-3111(代表)